

令和6（2024）年度 校友会事業報告書

I 主要会議

○評議員会、理事会

第1回 令和6年 5月27日（月）ハイブリッド方式会議（理事会・評議員会）

第2回 令和6年10月24日（木）ハイブリッド方式会議（理事会・評議員会）

第3回 令和7年 3月17日（月）ハイブリット方式会議（理事会）

第3回 令和7年 3月28日（金）ハイブリット方式会議（評議員会）

○校友会総会

・令和6年11月10日（日）横国Dday開催日に併せ教育文化ホールにて開催した。

○専門委員会

・広報委員会はメール会議を1回開催した。

・総務・財務委員会はメール会議を1回開催した。

II 主要事業実績

1 入学時関連事業（新入生向け）

○ 新入生入会記念品

・令和6年度4月入学の新入会員に、入会記念として、校友会ロゴ入り特製バインダーを作成し、会員証交付時に配布した。

○ 新入生歓迎会（学生幹事会）

・学生幹事会が主体となり6月14日（金）に第1食堂にて開催、約70名の新入会員と20名の教職員、各同窓会関係者が参加した。食事とソフトドリンク、景品等を提供。※申込人数増により増額となった。

○ 新入生歓迎横浜港ナイトクルーズ（校友会・3同窓会合同イベント）

・校友会、3同窓会との共催により5月24日（金）に第1回を開催、新入会員134名、教職員、各同窓会関係者22名が参加した。
・校友会、3同窓会との共催により10月25日（金）に第2回を開催、新入会員111名、教職員、各同窓会関係者22名が参加した。
パンとソフトドリンクを提供。2時間の横浜港クルーズを通して、学部を越えたヨコの交流が行われた。

○ 学事暦カレンダーの作成（配布用）

・令和6年度新入会員及び学部在学会員向けに学事暦カレンダーを作成（6250部）。
学部在学会員には2月末に（主に保護者宛）送付した。令和6年度新入会員には5月に送付した。

2 広報活動事業

○ 会報誌10号の発行（29,700部）

・会報誌第10号を作成し、卒業生、在校生、各同窓会、教職員、校友会関係者等に送付した。
校友会の活動、部活動団体の紹介や活躍している卒業生の紹介などの発信を行った。
※デザイン更新、発行部数増により増額となった。

○ 入会促進パンフレットの作成

・合格者用に校友会、同窓会への入会を促進するパンフレットの作成は、入学手続きのWeb化に伴い中止した。

- **校友会業務用情報基盤**
 - ・デジタルサイネージ利用料は 6-1 事務局諸経費へ移管した。

3 学生活動の支援事業

3-1 学生活動事業支援

- **スポーツ支援プロジェクト**
 - ・令和 5 年度に顕著な成績を収め課外活動表彰を受けた 6 団体※に対し副賞（活動奨励費）100,000 円を贈呈した。
※オリエンテーリング部、硬式野球部、陸上競技部、スポーツチャンバラ翔剣会、
藝術文化創作サークル「A R T X E N T」、ヨット部
 - ・スポーツ関連施設整備費を支援した。
※体育館製氷機、ウォーターサーバー、野球場ベンチ、テニスコート審判台の更新、体育館エントランスの整備
- **大学祭（常盤祭）支援**
 - ・大学祭実行委員会に対し大学祭（11 月 2,3,4 日開催）開催経費等 130,000 円を支援した。

3-2 国際交流関係事業

- **海外留学促進事業支援**
 - ・IELTS 対策講座開催経費を支援した。
- **異文化体験プログラム**
 - ・折り紙ワークショップ、七夕祭り in YNU、外国人のための歌舞伎鑑賞会、英語落語鑑賞、大相撲観戦について開催経費を支援した。
- **日本語スピーチ大会支援**
 - ・日本語スピーチ大会（12 月 10 日開催）参加者への賞品等、開催経費を支援した。
- **留学生就職支援（新規）**
 - ※実施しなかったため校友会予算は執行しなかった。
- **海外教育交流活動支援事業**
 - ・YOKOHAMA-SXIP プログラムによる協定校から受入れの学生・教員との交流会、カルチャーツアー等の実施経費を支援した。※交流会飲食費簡素化等により減額となった。
- **留学フェア・海外同窓会開催経費（新規）**
 - ・留学フェアに参加する教職員の参加費、旅費・宿泊費（10 月ベトナム、11 月インドネシア）及び海外同窓会開催経費を支援した。

3-3 キャリア教育関係事業

- **マスコミ就職支援セミナー開催支援**
 - ・7 月 19 日（金）にマスコミ関係へ就職を希望する学生向けに開催した。
 - ・N H K 及び朝日新聞から講師（本学卒業生）を招き、謝金（@15,000 円）、旅費を支援した。
- **キャリア教育「グローバルビジネス実践論」（ビジネス中心）**
 - ・海外駐在経験者を講師としたグローバルに活躍できる人材養成を狙いとした全学部 2 年生以上を対象とする専門科目。
 - ・秋学期（後期）開講し、講師謝金（@15,000 円×15 名）・コーディネーター謝金（@10,000 円×15 回）・交通費を支援した。

- **キャリア教育「グローバル化と日本人」（異文化中心）**
 - ・異文化理解とコミュニケーション力養成を狙いとした全学部対象の教養科目。
 - ・秋学期（後期）開講し、講師謝金（@15,000円×4名）・交通費を支援した。
- **就職支援（卒業生就職先インタビュー調査）（新規）**
 - ・大学からの予算措置があつたため校友会予算は執行しなかった。

3-4 地域課題実習活動支援

- **学生による地域課題解決支援事業**
 - ・学生による地域と連携した課題解決プロジェクトを支援する。
 - ・令和6年度は27プロジェクトに30,000円を支援した。

3-5 その他の学生活動支援事業

- **5学部との共催講演会**
 - ・5学部と校友会が共催し、学外から講師を招き講演会を実施。
 - 講師の謝金（交通費込@100,000円）、講演録作成経費を支援した。
 - ・教育学部…谷田部博貴氏（公認会計士・税理士）
「これでわかる！学校の先生のマネープランと働き方 2024」
 - ・経済学部…山口廣秀氏（元 日本銀行副総裁、現 日興リサーチセンター理事長）
「中央銀行の歴史・役割・理念」
 - ・経営学部…清威人氏（エムネクスト（株）代表取締役社長）
「LPWA を活用したスマートタウン構築と推進における課題」
 - ・理工学部…折井 靖光氏（Rapidus 株式会社 取締役、専務執行役員）
「新次元への架け橋：チップレット技術による半導体革命～時間は未来から流れる～」
 - ・都市科学部…佐々木葉氏（土木学会会長、早稲田大学理工学部創造理工学部教授）
「土木・建築 女性・男性 まちづくりはみんなの仕事」
- **「YNU 横浜経営者の会」による模擬面接会**
 - ・12月13日（金）に、大学、校友会共催で、YNU横浜経営者の会参加企業による集団模擬面接会を開催した。※参加企業による無償支援のため校友会予算は執行しなかった。
- **「YNU 横浜経営者の会」連携講義**
 - ・「経営者が語るこれからの企業戦略・イノベーションと若者へのメッセージ」
 - ・秋学期（後期）にYNU横浜経営者の会構成員を講師とする連携講義を開催し、講師謝金（@15,000円×15名）・コーディネーター謝金（@15,000円×15回）・交通費を支援した。

4 全会員対象事業

- **横国D a y事業**
 - ・大学が主催する事業。校友会・同窓会は共催で11月10日（日）に開催した。
 - イベント開催費、交流会開催費等を支援した。
- **学生・O B / O G交流会（ヨココク・ツナガル）**
 - ・令和6年度は開催しなかったため校友会予算は執行しなかった。次年度は事業計画なし。
- **美術館・博物館・科学博物館キャンパスメンバーズ**
 - ・東京国立博物館、国立美術館、及び国立科学博物館（新規）キャンパスメンバーズ年会費を支援した。新規で国立科学博物館が加わった。なお、利用率の低さ（R5年度38%）から、次年度事業は廃止となった。※新規に国立科学博物館増により増額となった。

- **学生幹事会支援**
 - ・今年度は、学生幹事会懇談会費用は発生しなかったため校友会予算は執行しなかった。
- **S E R E N D I P 繼続経費**
 - ・YNU 会長会で協議の結果、2024 年 10 月以降の書籍ダイジェストサービス年間契約継続経費支援を廃止としたため、校友会予算は執行しなかった。

5 大学支援事業

- **Y N U 横浜経営者の会**
 - ・神奈川県を中心に経営基盤を持つ企業経営者とY N U学長、校友会長等による懇談会を行った。
 5月 14 日（火）第 1 回開催
 12月 20 日（金）第 2 回開催
 ※諸経費値上げ等により増額となった。
- **寄附案内冊子の作成**
 - ・大学で予算措置したため費用は発生しなかった。
- **横浜国立大学開学 75 周年記念募金への寄附**
 - ・横浜国立大学開学 75 周年記念募金事業に対し 1,000 万円の寄附を行った。

6 管理費

校友会活動の運営のために必要な経費

- **事業附隨費 事務局諸経費**
 - ・デジタルサイネージ維持費、校友会業務用情報基盤費（Zoom、Adobe）、消耗品費、旅費交通費、通信費、振込手数料、器具備品費、各種手数料、会議費、諸会費、交際費等。
 ※カラー複合機故障による更新のため増額となった。
- **会員管理費 会員管理システムランニング費用**
 - ・会員管理用システム利用料（アルムネット）、会員カード作成費等。
- **事務局人件費**
 - ・事務局職員の人件費。※人員交代による通勤手当増等

7 予備費

- **障がい学生修学等支援事業（新規案件）**
 - ・学会参加・研究発表及び調査研究活動に際し、有償の介助等が必要な障がいのある学生会員に費用支援した。